

TOTO

ボールタップ(交換要領)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

1 給水管を止水栓から外す

①ヒーター用プラグをコンセントから抜いてください。
(水抜き方式のみ)

注意

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

禁止

②止水栓を閉めてください。
(マイナスドライバーで右に回す。)

③タンク内の水を流してください。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して完全に水を抜いてください。)

④スパナで袋ナットを外し、給水管を外してください。
(給水管内の水が若干量流れ出ますのでバケツなどの容器で受けてください。)

2 タンクふた(手洗い鉢)と、カバー(A)を外す

タンクふた(手洗い鉢)を垂直に持ち上げてください。

カバー(A)を外す手順:

- ① 止め輪をスライドさせ、外します。
- ② 止め輪をスライドさせ、外します。
- ③ 流動レバーを外します。
- ④ カバー(A)を持ち上げて外します。

一般地の場合 水抜き方式の場合	カバー(A)を持ち上げてそのまま外します。
流動方式の場合	<p>※流動方式の場合は、流動レバーを外さないと、カバー(A)が外せなくなっています。</p> <p>① 止め輪のつめ部分を広げます。 ② 止め輪をスライドさせ、外します。 ③ 流動レバーを外します。 ④ カバー(A)を持ち上げて外します。</p>

3 <水抜き方式の場合のみ>: ヒーターユニット部

注意

取り外し、取り付け時にコードを無理に引っ張らない
コードクランプがはがれ落ちてしまうおそれがあります。

禁止

<h4>取り替え時の取り外し要領</h4> <p>ヒーターユニットをボールタップ本体(圧力室固定板)から下図のようにA部を矢印方向に引き上げて外してください。 このとき、ヒーター本体とヒーター固定板が外れやすくなっているのでご注意ください。</p>	<h4>取り替え後の取り付け要領</h4> <p>ボールタップ本体(圧力室固定板)にヒーターユニットを固定してください。ヒーター固定板の左右から出ているつめの内側にヒーター本体が収まるようにセットしてください。</p> <p>① 角穴部を突起部にはめこむ ② A部をB部に押し込む</p>
--	--

4 ボールタップを外す

①手洗い(付き/なし)用分岐管部を機能タンクの分岐管ホルダーから外してください。

(1) 分岐管ホルダー(凹部)に挿入されている手洗い(付き/なし)用分岐管部(凸部)を抜いて外してください。

(2) 補助水管をオーバーフロー管から抜く。

②下図ボールタップホルダーA・B部を矢印方向に少し広げ、ボールタップ本体を真上に引き上げてください。

(1) 広げる (2) 真上に引き上げる

5 新しいボールタップの準備 (一般地・水抜き・流動共通)

<h4>①手洗い付きの場合</h4> <p>(工場出荷時は手洗い付きの状態で組立されています。)</p>	<h4>②手洗いなしの場合</h4> <p>(部品を一部組み替えて使用します。) ※裏面のつづきを参照</p> <p>組み替え部品</p>
--	---

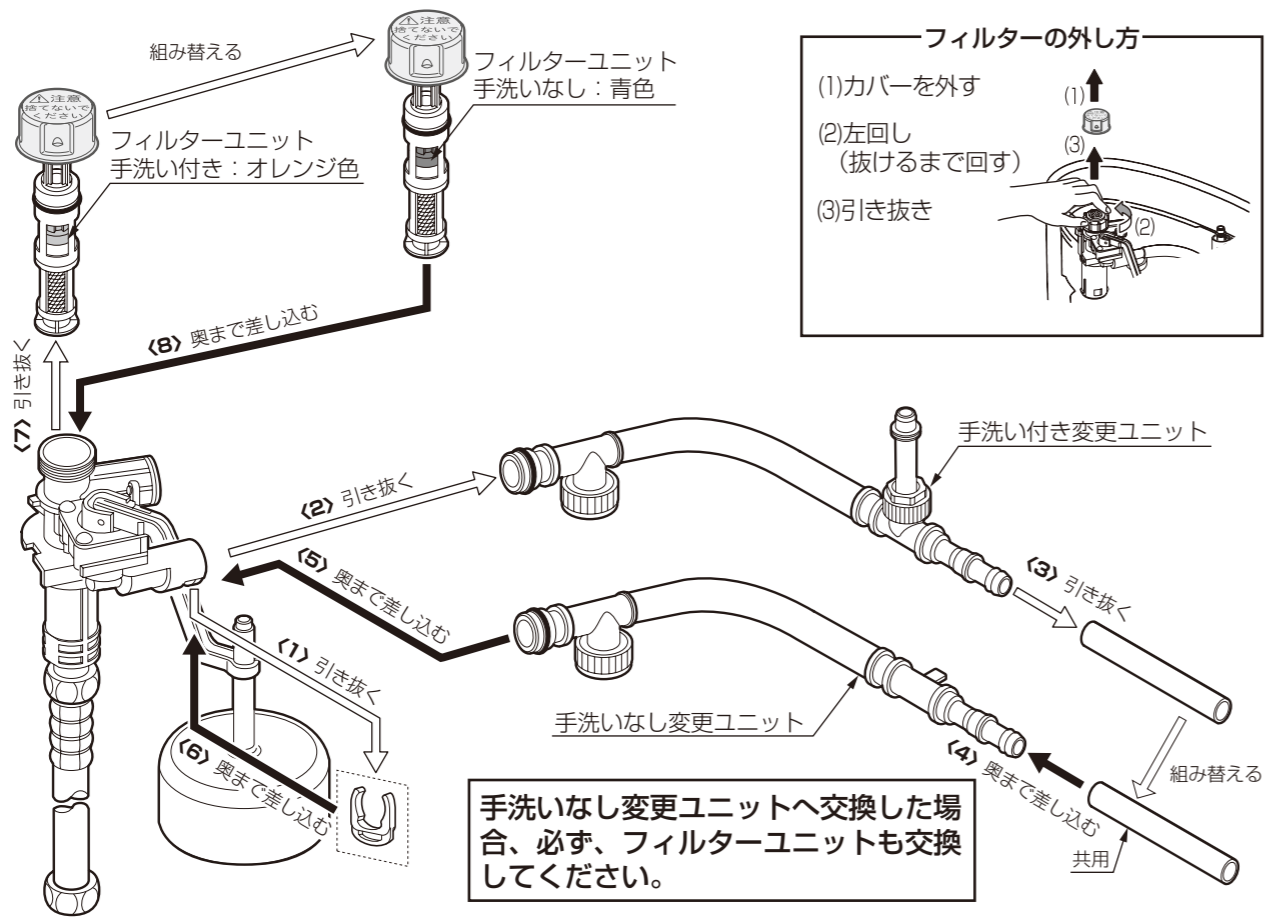
6

手洗いなしへの組み替え要領

※②手洗いなしの場合は、交換前のボールタップの部品を一部使用しますので、下図を参考に部品を組み替えてご使用ください。

注意

- 接続部にゴミの付着がないことを確認する
 - 組み替え部品の取り付けの際は、しっかりと奥まで確実に差し込む
- 必ず実行 水漏れの原因になります。



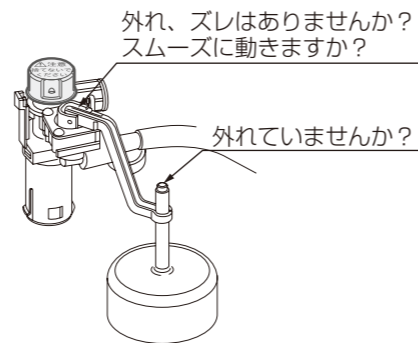
7

ボールタップの再取り付け

③、④の手順と逆の手順で、ボールタップを再度取り付けてください。

注意

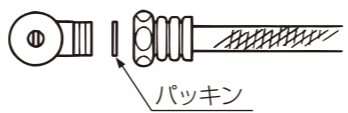
- ボールタップに浮玉を取り付けたあと、浮玉レバー部の外れ、ズレおよび浮玉が外れていないかを確認する
- 必ず実行 確実に接続されていないと止水不良の原因になります。



8

給水フレキホースと止水栓の接続

- ・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう接続してください。
- ・パッキンを右図の位置に必ず組み込んでください。



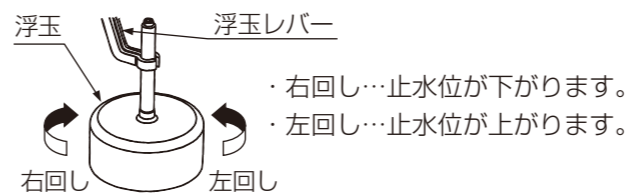
9

止水位の調整

※タンク品番をご確認のうえ、止水位の調整を必ず行ってください。

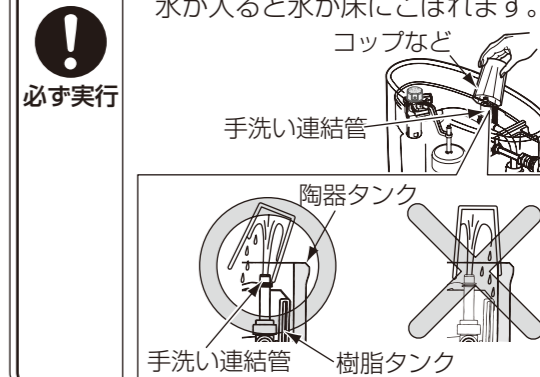
タンク品番 (品番を右表で ご確認ください)	SH/SS260系 SH/SS261系 SH/SS60系 SH/SS61系	SH/SS110系 SH/SS111系 SH/SS50系 SH/SS51系	SH/SS112系 SH/SS113系
止水位 (止水位を右図に あわせてください)	ライン2	ライン1	ライン3

※止水位を下図の要領で調整してください。



注意

- 止水栓を開ける前に、手洗い付きの場合、水が樹脂タンク外へ飛び出さないようにコップなどを手で持って手洗い連結管を覆う
 - 樹脂タンクと陶器タンクとの間に水が入らないよう右図のようにコップなどで手洗い連結管を覆う
- 樹脂タンクと陶器タンクとの間に水が入ると水が床にこぼれます。



10

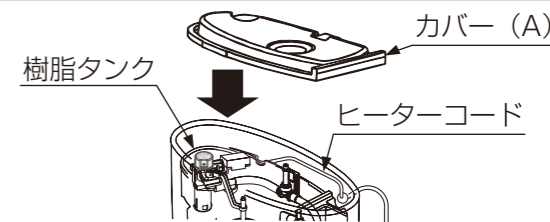
タンクふたの取り付け

カバー (A) とタンクふた (手洗い鉢) を元に戻してください。

- ①カバー (A) を手順 ②と逆の手順で取り付ける。
※流動方式の場合は必ず流動レバーを取り付けてください。

注意

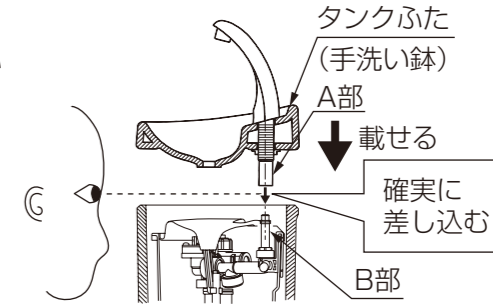
- カバーは確実に差し込む
 - 水抜き方式の場合、樹脂タンクとカバーの間にヒーターコードを挟まない
- 必ず実行 水漏れの原因になります。ヒーターコードが断線するおそれがあります。



- ②タンクふた (手洗い鉢) を取り付ける。
※手洗い付きの場合は、A部をB部に差し込んでタンクふたを載せてください。
※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

注意

- タンクふたは、確実に差し込む
- 必ず実行 水漏れの原因になります。



11

給水管の取り付け

①前記 ①と逆の手順で、元に戻してください。

- ②2～3度操作して吐水、貯水、止水が正常で水漏れなどの異常がないことを確認してください。
(流動方式の場合は、流動レバーの開・閉を行い正常に作動することを確認してください。)
- ③凍結のおそれがある場合は、取扱説明書 (お客様保管) の凍結予防方法に従って凍結予防を行ってください。